

科目名	キャリア教育(1)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員 関根敬右 栗岡由紀子 堀夏美 松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。					
到達目標	1年間のキャリア教育を通して、業界の仕事をしていく上で必要な人間力を養い、自らがリーダーとなり、主体的に行動をできるようにする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
2	4月27日	講義・演習	教室の使用方法・ITリテラシー・仲間作りのアクティビティ	ワークシート
3	5月11日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
4	5月18日	講義・演習	オーディションシートの作成	ワークシート
5	5月25日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
6	6月1日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
7	6月8日	講義・演習	職業紹介・アクティビティ	ワークシート
8	6月15日	講義・演習	セッティング図を学ぶ・アクティビティ	ワークシート
9	6月22日	講義・演習	メールマナーを学ぶ・アクティビティ	ワークシート
10	6月29日	講義・演習	ビジネス講座・アクティビティ	ワークシート
11	7月6日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
12	7月13日	講義・演習	ビジョンと目的について学ぶ・アクティビティ	ワークシート
13	8月24日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
ワークシート				

科目名	キャリア教育(2)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員 関根敬右 栗岡由紀子 堀夏美 松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。					
到達目標	1年間のキャリア教育を通して、業界の仕事をしていく上で必要な人間力を養い、自らがリーダーとなり、主体的に行動をできるようにする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	後期の過ごし方について・アクティビティ	ワークシート
2	10月12日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
3	10月19日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
4	10月26日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
5	11月2日	講義・演習	オーディション対策	ワークシート
6	11月16日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
7	11月23日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認・アクティビティ	ワークシート
8	11月30日	講義・演習	セッティング図を学ぶ・アクティビティ	ワークシート
9	12月7日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
10	12月14日	講義・演習	冬休みの過ごし方・2年生への準備について・アクティビティ	ワークシート
11	12月21日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
12	1月11日	講義・演習	SNSについて学ぶ・アクティビティ	ワークシート
13	1月18日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
ワークシート				

科目名	キャリア教育(3)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員 関根敬右 栗岡由紀子 堀夏美 松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。					
到達目標	1年間のキャリア教育を通して、業界の仕事をしていく上で必要な人間力を養い、自らがリーダーとなり、主体的に行動をできるようにする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	教室の使用方法・ITリテラシー	ワークシート
2	4月28日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
3	5月12日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
4	5月19日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションに向けて	ワークシート
5	5月26日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションに向けて	ワークシート
6	6月2日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
7	6月9日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
8	6月16日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
9	6月23日	講義・演習	ビジネス講座	ワークシート
10	6月30日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
11	7月7日	講義・演習	ビジョンと目的について学ぶ・アクティビティ	ワークシート
12	7月14日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
13	8月25日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
ワークシート				

科目名	キャリア教育(4)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員 関根敬右 栗岡由紀子 堀夏美 松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。					
到達目標	キャリア教育を通して、プレゼンテーション能力・チームワークでの作業を学び、人間力と共に3年制として学んだ技能も生かしつつ、エンターテインメント業界の視野を広げて業界の即戦力となるようにする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	後期の過ごし方について・アクティビティ	ワークシート
2	10月13日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
3	10月20日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
4	10月27日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
5	11月3日	講義・演習	ライフプランニングについて学ぶ	ワークシート
6	11月17日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
7	11月24日	講義・演習	プレゼンテーション	ワークシート
8	12月1日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
9	12月8日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
10	12月15日	講義・演習	冬休みの過ごし方・卒業への準備について	ワークシート
11	1月12日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認・アクティビティ	ワークシート
12	1月19日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
13	2月2日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
ワークシート				

科目名	キャリア教育(5)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員 関根敬右 栗岡由紀子 堀夏美 松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。					
到達目標	1年間のキャリア教育を通して、業界の仕事をしていく上で必要な人間力を養い、自らがリーダーとなり、主体的に行動をできるようにする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	教室の使用方法・ITリテラシー	ワークシート
2	4月28日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
3	5月12日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
4	5月19日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションに向けて	ワークシート
5	5月26日	講義・演習	卒業アルバムの提出物確認	ワークシート
6	6月2日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
7	6月9日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
8	6月16日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
9	6月23日	講義・演習	就職対策講座	ワークシート
10	6月30日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
11	7月7日	講義・演習	ビジョンと目的について学ぶ・アクティビティ	ワークシート
12	7月14日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
13	8月25日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
ワークシート				

科目名	キャリア教育(6)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員 関根敬右 栗岡由紀子 堀夏美 松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。					
到達目標	1年間のキャリア教育を通して、業界の仕事をしていく上で必要な人間力を養い、自らがリーダーとなり、主体的に行動をできるようにする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	後期の過ごし方について・アクティビティ	ワークシート
2	10月13日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
3	10月20日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
4	10月27日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
5	11月3日	講義・演習	ライフプランニングについて学ぶ	ワークシート
6	11月17日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
7	11月24日	講義・演習	プレゼンテーション	ワークシート
8	12月1日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
9	12月8日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
10	12月15日	講義・演習	冬休みの過ごし方・卒業への準備について	ワークシート
11	1月12日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認・アクティビティ	ワークシート
12	1月19日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
13	2月2日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
ワークシート				

科目名	マーケティング基礎(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	関根 敬右
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	より多くの視聴者を得るための拡大戦略を学ぶ。						
到達目標	より多くの視聴者を得るための拡大戦略を身に付ける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	企画、マーケティングを学ぶメリット	ワークシート
2	5月9日	講義・演習	チャンネルコンセプト(発信内容)の決め方	ワークシート
3	5月16日	講義・演習	戦略立案(資源量の把握、チーム構成)	ワークシート
4	5月23日	講義・演習	競合分析	ワークシート
5	5月30日	講義・演習	企画立案(動画、配信、コラボ)	ワークシート
6	6月6日	講義・演習	プロモーション(SNS)	ワークシート
7	6月13日	講義・演習	実技テスト:企画プレゼンテーション	オリジナル企画のプレゼン準備
8	6月20日	講義・演習	競争対応、消費者行動	ワークシート
9	6月27日	講義・演習	オムニチャネル戦略	ワークシート
10	7月4日	講義・演習	活動資金調達	ワークシート
11	7月11日	講義・演習	Google Analytics	ワークシート
12	7月18日	講義・演習	Google AdSense	ワークシート
13	8月22日	講義・演習	実技テスト:チャンネルプレゼンテーション	チャンネルの成長戦略のプレゼン準備
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを実践する	レポート
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを実践する	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
バーチャルエコノミスト千莉発行書籍、レポート				

科目名	マーケティング基礎(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	関根 敬右
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	濃いファンをつけるためのエンゲージメントマーケティング。						
到達目標	より多くの視聴者を得るための拡大戦略を身に付ける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	企画、マーケティングを学ぶメリットの振り返り	ワークシート
2	10月10日	講義・演習	チャンネルコンセプト(発信内容)決定	ワークシート
3	10月17日	講義・演習	戦略立案(資源量の把握、チーム構成)	ワークシート
4	10月24日	講義・演習	競合分析	ワークシート
5	10月31日	講義・演習	企画立案(動画、配信、コラボ)	ワークシート
6	11月7日	講義・演習	プロモーション(SNS)	ワークシート
7	11月14日	講義・演習	実技テスト:企画プレゼンテーション	オリジナル企画のプレゼン準備
8	11月21日	講義・演習	競争対応、消費者行動	ワークシート
9	11月28日	講義・演習	オムニチャネル戦略	ワークシート
10	12月5日	講義・演習	活動資金調達	ワークシート
11	12月12日	講義・演習	Google Analytics	ワークシート
12	12月19日	講義・演習	Google AdSense	ワークシート
13	1月9日	講義・演習	実技テスト:チャンネルプレゼンテーション	チャンネルの成長戦略のプレゼン準備
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを実践する	レポート
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを実践する	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
バーチャルエコノミスト千莉発行書籍、レポート				

科目名	Musician's IT (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根 敬右
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	企業のイメージ動画の撮影・編集、タレント・YouTuberの動画編集等					
授業の学習 内容	パソコンを使いアーティストが自分の力で活動していくための、画像作成や動画編集スキルを身につけます。					
到達目標	Adobe Photoshop・Illustrator・Premiere Proの基礎を理解し、自身の活動に合わせたコンテンツ制作ができる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	1年間の授業内容について / 自己紹介	事前にiPad Pro、Macbookをセットアップしておく
2	5月9日	講義・演習	動画撮影基礎・撮影機材に触れる	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
3	5月16日	講義・演習	Premiere Proを使ったクロップテクニック	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
4	5月23日	講義・演習	クロマキー素材を使った編集テクニック	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
5	5月30日	講義・演習	動画企画コンペ / 企画	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
6	6月6日	講義・演習	動画企画コンペ / 資料作成	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
7	6月13日	講義・演習	YouTubeサムネイル改善	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
8	6月20日	講義・演習	Photoshopで魅力的なアートワーク作成	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
9	6月27日	講義・演習	YouTube動画分析	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
10	7月4日	講義・演習	YouTube動画編集 / カット編集	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
11	7月11日	講義・演習	YouTube動画編集 / テロップ入れ	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
12	7月18日	講義・演習	YouTube動画編集 / SE入れ・書き出し	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
13	8月22日	講義・演習	期末テスト / 後期に向けて	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してコンテンツ作成を学ぶ	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してコンテンツ作成を学ぶ	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Musician's IT (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根 敬右
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	卒業後も活動を続けていくための生配信・SNSマーケティング・コンテンツ制作を学びます。					
到達目標	スマホアプリやPCを使って生配信ができ、各種SNSに対応するコンテンツ制作ができ自身のポートフォリオを完成させる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	生配信基礎 / 機材に触れる	授業内で配布した資料の確認
2	10月10日	講義・演習	生配信実践 / ゲーム実況	授業内で配布した資料の確認
3	10月17日	講義・演習	YouTube動画撮影	授業内で配布した資料の確認
4	10月24日	講義・演習	YouTube動画撮影 / カット編集	授業内で配布した資料の確認
5	10月31日	講義・演習	YouTube動画撮影 / テロップ入れ	授業内で配布した資料の確認
6	11月7日	講義・演習	YouTube動画撮影 / 効果音・BGM	授業内で配布した資料の確認
7	11月14日	講義・演習	YouTube動画撮影 / 書き出し・提出	授業内で配布した資料の確認
8	11月21日	講義・演習	RECLした音声と映像を同期	授業内で配布した資料の確認
9	11月28日	講義・演習	マルチカム編集	授業内で配布した資料の確認
10	12月5日	講義・演習	2年次まとめ動画作成 / 企画	授業内で配布した資料の確認
11	12月12日	講義・演習	2年次まとめ動画作成 / 編集	授業内で配布した資料の確認
12	12月19日	講義・演習	2年次まとめ動画作成 / 資料作成	授業内で配布した資料の確認
13	1月9日	講義・演習	年度末テスト / 卒業後について	授業内で配布した資料の確認
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通してコンテンツ作成を学ぶ	授業内で配布した資料の確認
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してコンテンツ作成を学ぶ	授業内で配布した資料の確認
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マーケティング基礎(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	関根 敬右
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	より多くの視聴者を得るための拡大戦略を学ぶ。						
到達目標	より多くの視聴者を得るための拡大戦略を身に付ける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	企画、マーケティングを学ぶメリット(中級)	ワークシート
2	5月9日	講義・演習	チャンネルコンセプト(発信内容)の決め方(中級)	ワークシート
3	5月16日	講義・演習	戦略立案(資源量の把握、チーム構成)(中級)	ワークシート
4	5月23日	講義・演習	競合分析(中級)	ワークシート
5	5月30日	講義・演習	企画立案(動画、配信、コラボ)(中級)	ワークシート
6	6月6日	講義・演習	プロモーション(SNS)(中級)	ワークシート
7	6月13日	講義・演習	実技テスト:企画プレゼンテーション	オリジナル企画のプレゼン準備
8	6月20日	講義・演習	競争対応、消費者行動(中級)	ワークシート
9	6月27日	講義・演習	オムニチャンネル戦略(中級)	ワークシート
10	7月4日	講義・演習	活動資金調達(中級)	ワークシート
11	7月11日	講義・演習	Google Analytics(中級)	ワークシート
12	7月18日	講義・演習	Google AdSense(中級)	ワークシート
13	8月22日	講義・演習	実技テスト:チャンネルプレゼンテーション	チャンネルの成長戦略のプレゼン準備
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを実践する	レポート
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを実践する	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
バーチャルエコノミスト千莉発行書籍、レポート				

科目名	マーケティング基礎(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	関根 敬右
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	濃いファンをつけるためのエンゲージメントマーケティング。						
到達目標	より多くの視聴者を得るための拡大戦略を身に付ける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	企画、マーケティングを学ぶメリットの振り返り(中級)	ワークシート
2	10月10日	講義・演習	チャンネルコンセプト(発信内容)決定(中級)	ワークシート
3	10月17日	講義・演習	戦略立案(資源量の把握、チーム構成)(中級)	ワークシート
4	10月24日	講義・演習	競合分析(中級)	ワークシート
5	10月31日	講義・演習	企画立案(動画、配信、コラボ)(中級)	ワークシート
6	11月7日	講義・演習	プロモーション(SNS)(中級)	ワークシート
7	11月14日	講義・演習	実技テスト:企画プレゼンテーション	オリジナル企画のプレゼン準備
8	11月21日	講義・演習	競争対応、消費者行動(中級)	ワークシート
9	11月28日	講義・演習	オムニチャネル戦略(中級)	ワークシート
10	12月5日	講義・演習	活動資金調達(中級)	ワークシート
11	12月12日	講義・演習	Google Analytics(中級)	ワークシート
12	12月19日	講義・演習	Google AdSense(中級)	ワークシート
13	1月9日	講義・演習	実技テスト:チャンネルプレゼンテーション	チャンネルの成長戦略のプレゼン準備
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを実践する	レポート
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを実践する	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
パーチャルエコノミスト千莉発行書籍、レポート				

科目名	Music Theory (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 中澤頼子 渡辺由芽 小林由佳 正村恵 鈴木未夏
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作曲、アレンジの能力が必要となる。本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。					
到達目標	楽曲分析ができるようになり、実際にオリジナル曲作曲や楽曲アレンジができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	確認テスト	復習、テスト対策を行いテストに備える
2	4月28日	講義・演習	奏法	省略記号、奏法記号、装飾記号を復習する
3	5月12日	講義・演習	近親調	それぞれの調の関係性を理解し復習する
4	5月19日	講義・演習	移調	五線を用いて移調が出来るようにする
5	5月26日	講義・演習	トライアド	コードの概念とトライアドの構造を理解し復習し実際に弾いてみる
6	6月2日	講義・演習	7thコード	トライアドの知識を踏まえ、7thコードに発展させることが出来るようにし、実際に弾いてみる
7	6月9日	講義・演習	7thコードの復習とdim7	トライアド、7thコード、dimコードの構造を復習し実際に弾いてみる
8	6月16日	講義・演習	転回形	転回形の表記方法を復習し、G-clefでの簡単なヴォイシングが出来るようにする
9	6月23日	講義・演習	その他のコード	add9、sus4、6thコードを復習し実際に弾いてみる
10	6月30日	講義・演習	テンション	9th、11th、13thのテンションコードを復習し実際に弾いてみる
11	7月7日	講義・演習	まとめ	今まで習ったコードの内容を復習し、理解度高める
12	7月14日	講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13	8月25日	講義・演習	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14	9月1日	講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
15	9月8日	講義・演習	テスト返却、総復習	楽譜を見て、keyや雰囲気などをつかみ、表現できるようにする
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
ゼロから始める音楽理論 喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部				

科目名	Music Theory (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 中澤頼子 渡辺由芽 小林由佳 正村恵 鈴木未夏
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作曲、アレンジの能力が必要となる。本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。					
到達目標	楽曲分析ができるようになり、実際にオリジナル曲作曲や楽曲アレンジができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	代理コード(裏コードを含むダイアトニック外の代理コード)	メイジャー、マイナーのダイアトニックコードの代理コードとダイアトニック外の代理コードを使ってアレンジしてみる
2	10月13日	講義・演習	借用和音	マイナーキーからの借用和音を入れたコード進行を作ってみる
3	10月20日	講義・演習	転調	転調のパターンを知り、実践する
4	10月27日	講義・演習	アナライズ	楽譜と音源から楽曲分析をしてみる
5	11月3日	講義・演習	ヴォイスिंग	ケーデンスを実際に5線に書けるようにする(保留をしながら)
6	11月17日	講義・演習	アペイラブルノートスケール(メイジャー)	コードスケールを使ってフレーズを作ってみる
7	11月24日	講義・演習	アペイラブルノートスケール(マイナー)	コードスケールを使ってフレーズを作ってみる
8	12月1日	講義・演習	ドミナントスケール	V7に適したスケールを使ってフレーズを作ってみる
9	12月8日	講義・演習	コードに適したスケール	それぞれのコードに適したスケールを使ってフレーズを作ってみる
10	12月15日	講義・演習	その他のスケール	前回までに学んだスケール以外のスケールを使ってアレンジしてみる
11	1月12日	講義・演習	まとめ	復習をし、理解度を高める
12	1月19日	講義・演習	スコアリーディング	今までの内容を復習し理解度を高める 期末テストに備える
13	2月2日	講義・演習	期末予備テスト	復習、テスト対策をし期末テストに備える
14	2月9日	講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策をし期末テストに備える
15	2月16日	講義・演習	テスト返却と総復習	実際に楽譜を読み、自分なりに分析し、表現に繋げる応用力を身に付ける。
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部				

科目名	Ear Training(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 中澤頼子 渡辺由芽 小林由佳 正村恵 鈴木未夏
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。					
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)		
1	4月19日	講義・演習	既習リズムを使ったリズム打ち・書き取り、6/8拍子のリズム打ち、メロディー書き取り(CMajor)、2声メロディー、音程ドリル	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に叩けるようにする		
2	5月10日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って)、メロディー書き取り(Cminor、2声ハーモニー)、3度音程のハーモニー練習、音程ドリル	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する		
3	5月17日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って)、メロディー書き取り(Cminor)、3度音程の2声ハーモニー書き取り、音程ドリル コードI、IV、Vの聴き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する		
4	5月24日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って) メロディー書き取り(Aminor、2声メロディー) P4,P5,トライトーンのハーモニー練習 コードI、IV、Vの聴き取り	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する		
5	5月31日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って) メロディー書き取り(16分音符導入、Aminor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードI、IV、Vの聴き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する		
6	6月7日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って) メロディー書き取り(Aminor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードI、IV、Vの聴き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する		
7	6月14日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備える		
8	6月21日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,G,Fを使って) メロディー書き取り(Aminor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードI、IV、Vの聴き取り、IV(II m)-V-Iの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する		
9	6月28日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(Aminor、2声メロディー) 6度音程のハーモニー練習 コードIV(II m)-V-Iの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する		
10	7月5日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(FMajor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードIV(II m)-V-Iの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する		
11	7月12日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(FMajor、2声メロディー) オクターブとユニゾンのハーモニー練習 コードIV(II m)-V-Iの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する		
12	7月19日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(FMajor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードIV(II m)-V-Iの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する		
13	8月23日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(FMajor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードIV(II m)-V-Iの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する		
14	8月30日	講義・演習	復習	総復習を行い中間テストに備える		
15	9月6日	講義・演習	中間テスト	総復習を行い中間テストに備える		
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える			
【使用教科書・教材・参考書】 □						
セロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部						

科目名	Ear Training(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 中澤頼子 渡辺由芽 小林由佳 正村恵 鈴木未夏
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。					
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)		
1	10月6日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニーは2度音程導入)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
2	10月13日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードIV(II m)-V-Iの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
3	10月20日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードIV(II m)-V-Iの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
4	10月27日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードVI mを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
5	11月3日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードVI mを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
6	11月17日	講義・演習	曲を題材にしたリズム打ち、リズム書き取り、メロディー書き取りメロディー書き取り(6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードVI mを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
7	11月24日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備える		
8	12月1日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コード I、II m、IV、V、VI mの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
9	12月8日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コード I、II m、IV、V、VI mの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
10	12月15日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コード I、II m、IV、V、VI mの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
11	1月12日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)、メロディー書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コード I、II m、IV、V、VI mの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
12	1月19日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)、メロディー書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コード I、II m、IV、V、VI mの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
13	2月2日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
14	2月9日	講義・演習	期末テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
15	2月16日	講義・演習	テスト返却、総復習	聴こえる音やリズムを正しく楽譜に書き、コードの響きや種類を聴き分けられる		
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える			
【使用教科書・教材・参考書】 □						
ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部						

科目名	LOCK(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	①ストリートダンスの原点とも言えるLOCKは今も様々な場面で役立つ為 ②ヒップホップはもちろん、ジャズやポップなどもリンクする動きやノリがある ③LOCKや音楽を好きになってほしい ④LOCKを踊れることのみならず、ダンス人生に活かしてもらえるよう有意義に指導する						
到達目標	LOCKの基本的な動きを習得すること。またそれを使いこなし、フリーで踊ったり簡単な振付を作れるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	LOCKの基礎ムーブ①	YouTubeなどを観てLOCKのイメージを持つ
2	5月10日	講義・演習	LOCKの基礎ムーブ②	YouTubeなどを観てLOCKのイメージを持つ
3	5月17日	講義・演習	リズム&アイソレーション	FUNKミュージックの定番を聴き込んでリズムに慣れておく
4	5月24日	講義・演習	リズム&基礎ムーブ	FUNKミュージックの定番を聴き込んでリズムに慣れておく
5	5月31日	講義・演習	コンビネーション	ここまで習った基礎をおさらいしておく
6	6月7日	講義・演習	遊びを混ぜて踊る	YouTubeなどを観てLOCKのイメージを持つ
7	6月14日	講義・演習	フロアを混ぜて踊る	YouTubeなどを観てLOCKのイメージを持つ
8	6月21日	講義・演習	アクロバットを混ぜて踊る	YouTubeなどを観てLOCKのイメージを持つ
9	6月28日	講義・演習	ここまでのおさらい	ここまで習った基礎をおさらいしておく
10	7月5日	講義・演習	フリーで踊ろう	短くてもいいのでフリーで踊ってみる
11	7月12日	講義・演習	振りを作ろう	短くてもいいので振りを作ってみる
12	7月19日	講義・演習	試験の課題を提示	ここまで習ったことを発表できるよう準備しておく
13	8月23日	講義・演習	試験の実施	ここまでの成果を出し切れるよう練習やイメトレを重ねておく
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通してLOCKの楽しさを学ぶ	レポートの提出
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通してLOCKの魅せ方を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			レッスン時に使用した音楽や知識を確実に身につけていく。YouTubeやネットの記事も参照すること	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
シューズ、タオル				

科目名	LOCK(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	①ストリートダンスの原点とも言えるLOCKは今も様々な場面で役立つ為 ②ヒップホップはもちろん、ジャズやポップなどともリンクする動きやノリがある ③LOCKや音楽を好きになってほしい ④LOCKを踊れることのみならず、ダンス人生に活かしてもらえるよう有意義に指導する						
到達目標	LOCKの基本的な動きを習得すること。またそれを使いこなし、フリーで踊ったり簡単な振付を作れるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	LOCK基礎の復習	前期の復習をしておく
2	10月11日	講義・演習	LOCK応用(ステップの変化)	基礎の復習をしておく
3	10月18日	講義・演習	LOCK応用(リズムの変化)	基礎の復習をしておく
4	10月25日	講義・演習	フリーで踊ろう	YouTubeを見たり実際にフリーで踊って準備しておく
5	11月1日	講義・演習	ゲーム形式で踊ろう	基礎の復習をしておく
6	11月8日	講義・演習	オリジナルムーブを作ろう	応用まで復習しておく
7	11月15日	講義・演習	ここまでのまとめ	ここまでのおさらいをしておく
8	11月22日	講義・演習	実践:振り創り	ここまでのおさらいをしておく
9	11月29日	講義・演習	実践:模擬バトル	バトルの映像を見たり、実践して準備しておく
10	12月6日	講義・演習	テストの課題の提示	ここまでのおさらいをしておく
11	12月13日	講義・演習	テストに向けての指導	前週の確認をしておく
12	12月20日	講義・演習	プレテスト	テストの準備をしておく
13	1月10日	講義・演習	テスト	ここまでの成果を出せるよう準備しておく
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通してLOCKの楽しさを学ぶ	レポートの提出
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通してLOCKの魅せ方を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションをしたり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
シューズ、タオル				

科目名	POP (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員 石井直彦 ・ 村上未来
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	石井:NYのEarl Mosley氏ダンスカンパニーメンバー、国内スタジオ(BDCなど)でのモダン/コンテンポラリー講師歴20年 村上:POP ダンスインストラクター歴5年					
授業の学習 内容	①歴史、成り立ちを学びダンスへの理解を深めると共に 実践することで、様々なジャンルのダンスに活かすことができる ②ストリートダンス全般には必須 ③POPというジャンル、オールドスクール全般に興味を持ち 今後のダンスライフへ繋がってほしいと思っています。 ④基礎からの学びはもちろん、実践のみならずそのムーブがどのようにできたのかを平行して授業することで 技術・知識ともにあるダンサー育成を目指します。					
到達目標	一つ一つのムーブと成り立ちを理解しながら、振り付けのみならずフリーでもPOPの要素を取り入れられるようにする					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	POPとはどんなものなのかを知る。ヒット部位と使い方	ヒット練習
2	5月9日	講義・演習	POPとヒットの違いと使い分け	POPとヒットの使い分けを実践練習
3	5月16日	講義・演習	重心移動、軸の使い方	軸移動の理解を深める為の軸移動実践練習
4	5月23日	講義・演習	アップを取り入れながらのムーブ	アップのリズムキープしながらヒットする練習
5	5月30日	講義・演習	ハンドウエーブ、その応用	ハンドウエーブの練習
6	6月6日	講義・演習	ボディウエーブ、その応用	ボディウエーブの練習
7	6月13日	講義・演習	1-6までの復習と、それを踏まえてのルーティン	それぞれのムーブの名前とムーブの復習
8	6月20日	講義・演習	ツイスト、フレックス(ツイストオーフレックス)	ツイストとフレックスの違いを理解、使い分け練習
9	6月27日	講義・演習	ネックオーフレックスについて	首と首から下の使い方の理解と復習
10	7月4日	講義・演習	下半身メインのフレックスと上半身の使い分け	下半身のフレックス、足裏の使い方の復習
11	7月11日	講義・演習	ストップ、空間移動の使い方	ストップのためのストマック、首のヒットの強化
12	7月18日	講義・演習	ロール全般	首から膝までのロール復習
13	8月22日	講義・演習	全てのまとめ、復習とルーティン	全てのムーブ名の復習と、それらのムーブを繋げてのフリーで踊る練習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してPOPの楽しさを学ぶ	レポートの提出
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してPOPの楽しさを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			Youtubeなどを見てPOPを学ぶ、踊ってみる。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
シューズ・タオル				

科目名	POP (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員 石井直彦 ・ 村上未来
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	石井:NYのEarl Mosley氏ダンスカンパニーメンバー、国内スタジオ(BDCなど)でのモダン/コンテンポラリー講師歴20年 村上:POP ダンスインストラクター歴5年					
授業の学習 内容	①歴史、成り立ちを学びダンスへの理解を深めると共に実践することで、様々なジャンルのダンスに活かすことができる ②ストリートダンス全般には必須 ③POPというジャンル、オールドスクール全般に興味を持ち今後のダンスライフへ繋がっていかねばと思っています。 ④基礎からの学びはもちろん、実践のみならずそのムーブがどのようにできたのかを平行して授業することで技術・知識ともにあるダンサー育成を目指します。					
到達目標	一つ一つのムーブと成り立ちを理解しながら、振り付けのみならずフリーでもPOPの要素を取り入れられるようにする					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	前期授業のムーブの復習・そのルーティン	前期学んだムーブ名とムーブの復習
2	10月10日	講義・演習	ウォークアウトとその応用	ウォークアウトで気をつけるべき点とシルエットの復習
3	10月17日	講義・演習	ダイムストップとムーブへの取り入れ方のバリエーション	ダイムストップでのスタマックのヒットの質上げ練習
4	10月24日	講義・演習	ダブルヒット、力の抜き入れのパターン	ダブルヒットの練習
5	10月31日	講義・演習	ボトムファースト、向きと応用	ボトムファーストの意味と、下半身の使い分けの練習
6	11月7日	講義・演習	マスターオーフレックス	マスターオーフレックスの順番と注意点の確認
7	11月14日	講義・演習	1-6までの復習と、それを踏まえてのルーティン	1-6までのムーブ名とムーブの注意点の確認・復習
8	11月21日	講義・演習	フリーで踊るためのpop要素の取り入れ方	popを用いたフリームーブの練習
9	11月28日	講義・演習	バウンス、スウィングでの抜き方	音に対してバウンス、スウィングでアプローチするフリームーブの練習
10	12月5日	講義・演習	リズムキープしながらのヒット・popの使い分け 応用	リズムキープしながら打つ練習
11	12月12日	講義・演習	14スタイルを繋げての知識・ムーブの確認	14スタイルの名前・ムーブの復習
12	12月19日	講義・演習	前期、後期授業のまとめ チーム分けしての振り・構成作り①	ルーティンの練習
13	1月9日	講義・演習	前期、後期授業のまとめ チーム分けしての振り・構成作り②と発表会	ルーティンの練習・全ムーブの名称、注意点の確認
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通してムーブの繋ぎや流れのコツを学ぶ	レポートの提出
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して歴史と基礎の大切さを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			Youtubeなどを見てPOPを学ぶ、踊ってみる。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
シューズ・タオル				

科目名	Media Artプロジェクト(5)(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	石井直彦
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	NYのEarl Mosley氏ダンスカンパニーメンバー、国内スタジオ(BDCなど)でのモダン/コンテンポラリー講師歴20年						
授業の学習 内容	テクノロジーエンターテインメントの事例を学びながら、身体表現(ダンス、パントマイム、アクロバット、イリュージョン)とテクノロジーを掛け合わせる方法を学び、研究、開発をする。						
到達目標	「身体表現」「テクノロジー」「アイデア」の3種類のレッスンをあり、「自分らしさ」「自分しかできない」新しい組み合わせのエンターテインメントの創出、「思いつく」「作る」「表現する」ができる総合エンターテインメントの育成を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	「アイデア」の出し合い	なぜこの授業を選択したのかを意識的に確認する
2	4月29日	講義・演習	「身体」を使つての表現する	フィジカルを活かすための対話
3	5月13日	講義・演習	「技術」を取り入れる	それぞれに出来る様になったことを共有する
4	5月20日	講義・演習	3要素の「技術」「身体」「アイデア」を学ぶ	自分自身何がこの授業で出来るようになったのかを自覚する
5	5月27日	講義・演習	プロジェクトマッピングを学ぶ	それぞれに出来る様になったことを共有する
6	6月3日	講義・演習	プロジェクトマッピングとダンスを学ぶ	理解し深めてくる
7	6月10日	講義・演習	プロジェクトマッピングとダンスの確認	それぞれに出来る様になったことを共有する
8	6月17日	講義・演習	テクノロジーとエンターテインメントの方法	それぞれに出来る様になったことを共有する
9	6月24日	講義・演習	融合と方法	前回からの成長を自身が感じられるまでやりこむ
10	7月1日	講義・演習	作品振付を考える	振付を理解し深めてくる
11	7月8日	講義・演習	作品を形つける	お互いの踊りを見て感じたことを考える
12	7月15日	講義・演習	作品の発表	ステージングの意味を理解する
13	8月26日	講義・演習	「5G」通信を使ったエンターテインメントの方法	理解し深めてくる
14	9月2日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			Youtubeなどで色々なジャンルを観る。知る。触れる。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名	Media Artプロジェクト(5)(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	石井直彦
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	NYのEarl Mosley氏ダンスカンパニーメンバー、国内スタジオ(BDCなど)でのモダン/コンテンポラリー講師歴20年						
授業の学習 内容	テクノロジーエンターテインメントの事例を学びながら、身体表現(ダンス、パントマイム、アクロバット、イリュージョン)とテクノロジーを掛け合わせる方法を学び、研究、開発をする。 前期で学んだことを形にし実際に発表する						
到達目標	アイデア出しから構成演出振り付けを行いテクノロジーを活かした作品を完成させる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	前期の復習	なぜこの授業を選択したのかを意識的に確認する
2	10月14日	講義・演習	「アイデア」の出し合い	知識を活かすための対話
3	10月21日	講義・演習	「技術」を取り入れる	それぞれに出来る様になったことを共有する
4	10月28日	講義・演習	構成・演出を決める	話し合いの内容を確認する
5	11月4日	講義・演習	楽曲決め	各自楽曲を調べる
6	11月18日	講義・演習	プロジェクトマッピングとダンスの振り付けを行う	振り付けの確認
7	11月25日	講義・演習	プロジェクトマッピングの応用	マッピング資料を確認する
8	12月2日	講義・演習	テクノロジーとエンターテインメントの表現方法	今後のエンターテインメント業界について考える
9	12月9日	講義・演習	作品全体の確認	前回からの成長を自身が感じられるまでやりこむ
10	12月16日	講義・演習	作品のフィードバック	振付を理解し深めてくる
11	1月13日	講義・演習	作品を形つける	お互いの踊りを見て感じたことを考える
12	1月20日	講義・演習	作品の通し稽古と話し合い	ステージングの意味を理解する
13	2月3日	講義・演習	作品の発表	反省と改善
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンスを学ぶ	レポートの提出
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			Youtubeなどで色々なジャンルを観る。知る。触れる。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名	イベント制作(5) Project Work	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	ワークシート
2	4月29日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	ワークシート
3	5月13日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	ワークシート
4	5月20日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	ワークシート
5	5月27日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成することができる	ワークシート
6	6月3日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションをできるようになる	ワークシート
7	6月10日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	ワークシート
8	6月17日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	ワークシート
9	6月24日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	ワークシート
10	7月1日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	ワークシート
11	7月8日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	ワークシート
12	7月15日	講義・演習	イベントにおける振り返りを行うことで問題点を理解することができる	ワークシート
13	8月26日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	ワークシート
14	9月2日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月9日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名	イベント制作(6) Project Work	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めまます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	ワークシート
2	10月14日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	ワークシート
3	10月21日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	ワークシート
4	10月28日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	ワークシート
5	11月4日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し役割分担を決めることができる	ワークシート
6	11月18日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	ワークシート
7	11月25日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	ワークシート
8	12月2日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	ワークシート
9	12月9日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点をディスカッションし解決する事ができる	ワークシート
10	12月16日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	ワークシート
11	1月13日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成する事ができる	ワークシート
12	1月20日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	ワークシート
13	2月3日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と資料制作をまとめることができる	ワークシート
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名	イベント制作(5) Management Work	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めまます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	ワークシート
2	4月29日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	ワークシート
3	5月13日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	ワークシート
4	5月20日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	ワークシート
5	5月27日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成することができる	ワークシート
6	6月3日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションをできるようになる	ワークシート
7	6月10日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	ワークシート
8	6月17日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	ワークシート
9	6月24日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	ワークシート
10	7月1日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	ワークシート
11	7月8日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	ワークシート
12	7月15日	講義・演習	イベントにおける振り返りをする事で問題点を理解することができる	ワークシート
13	8月26日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	ワークシート
14	9月2日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月9日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名	イベント制作(6) Management Work	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めまます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	ワークシート
2	10月14日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	ワークシート
3	10月21日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	ワークシート
4	10月28日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	ワークシート
5	11月4日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し役割分担を決めることができる	ワークシート
6	11月18日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	ワークシート
7	11月25日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	ワークシート
8	12月2日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	ワークシート
9	12月9日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点をディスカッションし解決する事ができる	ワークシート
10	12月16日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	ワークシート
11	1月13日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成する事ができる	ワークシート
12	1月20日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	ワークシート
13	2月3日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と資料制作をまとめることができる	ワークシート
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名	Marketing(5) AT-Marketing(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	関根 敬右
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	マーケティング知識の習得と実践						
到達目標	マーケティング知識の習得と実践により、経済的に自立できる人材の育成を目的とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	授業概要・「導入課題」取り組み。自己の目標を見定め、授業の目的を明確にさせる	「導入課題」へのワークシート
2	5月10日	講義・演習	課題「自分年表」説明	「自分年表」ワークシート
3	5月17日	講義・演習	課題「自分年表」取り組み。過去の経験から自己の強みを探る	「自分年表」ワークシート
4	5月24日	講義・演習	課題「他者ヒアリング」説明	「他者ヒアリング」ワークシート&ヒアリング
5	5月31日	講義・演習	課題「他者ヒアリング」取り組み。他者からの視点で自己の強みを探る	「他者ヒアリング」ワークシート&ヒアリング
6	6月7日	講義・演習	課題「ジョハリの窓」説明	「ジョハリの窓」ワークシート
7	6月14日	講義・演習	課題「ジョハリの窓」取り組み。自己の強みを整理し理解を深める	「ジョハリの窓」ワークシート
8	6月21日	講義・演習	課題「USP策定」説明&取り組み。自己の強みから軸になるものを選び探る	「USP策定」ワークシート
9	6月28日	講義・演習	課題「PEST分析」「SWOT分析」説明	「PEST分析」「SWOT分析」ワークシート
10	7月5日	講義・演習	課題「PEST分析」「SWOT分析」取り組み。政治的・経済的・社会的・技術的な機会と脅威の中で、自分の強みをどう活かすビジネスに繋げるかを学び考える	「PEST分析」「SWOT分析」ワークシート
11	7月12日	講義・演習	課題「クロスSWOT分析」説明&取り組み。政治的・経済的・社会的・技術的な機会と脅威の中で、自分の強みをどう活かすビジネスに繋げるかを学び考える	「クロスSWOT分析」ワークシート
12	7月19日	講義・演習	前期まとめ 上記学習内容を整理し理解を深める	上記ワークシートの復習
13	8月23日	講義・演習	前期テスト 上記学習内容の理解を定着させる	上記ワークシートの復習
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通じてマーケティングを学ぶ	イベントプロデューサーを行う
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通じてマーケティングを学ぶ	イベントプロデューサーを行う
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Marketing(6) AT-Marketing(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	関根 敬右
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	プロミュージシャンとして様々なアーティストのサポートの傍ら、マーケティング戦略の知識を用いて音楽をビジネスとした活動をしている。						
授業の学習 内容	マーケティング知識の習得と実践、ならびにライフプランニングに関する知識の習得						
到達目標	マーケティング知識の習得と実践、ならびにライフプランニングに関する知識の習得により、経済的に自立できる人材の育成を目的とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	後期概要・課題「STP分析」「ペルソナ設定」説明	「STP分析・ペルソナ設定」ワークシート
2	10月11日	講義・演習	課題「STP分析」「ペルソナ設定」取り組み。顧客について考	「STP分析・ペルソナ設定」ワークシート
3	10月18日	講義・演習	課題「直接競合・バリューチェーン分析」説明	「直接競合・バリューチェーン分析」ワークシート
4	10月25日	講義・演習	課題「直接競合・バリューチェーン分析」取り組み。自社と競	「直接競合・バリューチェーン分析」ワークシート
5	11月1日	講義・演習	課題「間接競合・ベンチマーク分析」説明	「間接競合・ベンチマーク分析」ワークシート
6	11月8日	講義・演習	課題「間接競合・ベンチマーク分析」取り組み。自社と競合	「間接競合・ベンチマーク分析」ワークシート
7	11月15日	講義・演習	競合の分析まとめ(復習)直接競合・間接競合についての学	「競合」ワークシートの復習
8	11月22日	講義・演習	課題「4P分析」説明	「4P分析」ワークシート
9	11月29日	講義・演習	課題「4P分析」取り組み。特に「販売促進・顧客導線」につ	「4P分析」ワークシート
10	12月6日	講義・演習	課題「事業計画」説明&取り組み。事業計画を明確に言語	「事業計画」ワークシート
11	12月13日	講義・演習	老後に向けてのマネープランニングの重要性	「マネープランニング」ワークシート
12	12月20日	講義・演習	後期まとめ 上記学習内容を整理し理解を深める	上記ワークシートの復習
13	1月10日	講義・演習	後期テスト 上記学習内容の理解を定着させる	上記ワークシートの復習
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通じてマーケティングを学ぶ	イベントプロデュースを行う
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通じてマーケティングを学ぶ	イベントプロデュースを行う
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Session Work(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	神崎優
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	アンサンブルを通じてジャムセッションのやり方、楽しみ方を学ぶ。						
到達目標	セッションに対する苦手意識を無くす。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	7th FUNK一週目 セッションの基礎を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
2	5月9日	講義・演習	7th FUNK二週目 セッションの基礎を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
3	5月16日	講義・演習	ブルース一週目ストレートなビートのブルースに対するアプローチ	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
4	5月23日	講義・演習	最近のヒット曲の進行を使ってセッション二週目 セッションの基礎を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
5	5月30日	講義・演習	CCstrut 一週目 定番曲のレパートリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
6	6月6日	講義・演習	CCstrut 二週目 定番曲のレパートリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
7	6月13日	講義・演習	Just the 2 of us 一週目 定番曲のレパートリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
8	6月20日	講義・演習	Just the 2 of us 二週目 定番曲のレパートリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
9	6月27日	講義・演習	Isn't he lovely? 一週目 定番曲のレパートリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
10	7月4日	講義・演習	Isn't he lovely? 二週目 定番曲のレパートリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
11	7月11日	講義・演習	Feel like 一週目 定番曲のレパートリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
12	7月18日	講義・演習	Feel like 二週目 定番曲のレパートリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
13	8月22日	講義・演習	後期の復習・テスト	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してセッションを学ぶ	楽曲の練習を最低3時間行う
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してセッションを学ぶ	楽曲の練習を最低3時間行う
準備学習 時間外学習			事前に配布される資料の予習を行う。授業で学んだことを復習し、次の授業に備える。1日1時間程度。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Session Work(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	神崎優
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブサポート・レコーディング等の活動をしている						
授業の学習 内容	アンサンブルを通じてジャムセッションのやり方、楽しみ方を学ぶ。						
到達目標	セッションに対する苦手意識を無くす。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	イベント実践を通してセッションを学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
2	10月10日	講義・演習	イベント実践を通してセッションを学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
3	10月17日	講義・演習	ブルース一週目ストレートなビートのブルースに対するアプローチ	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
4	10月24日	講義・演習	ブルース二週目 ストレートなビートのブルースに対するアプローチ	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
5	10月31日	講義・演習	Long subway runnin' 一週目 定番曲のレパートリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
6	11月7日	講義・演習	Long subway runnin' 二週目 定番曲のレパートリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
7	11月14日	講義・演習	モダンセッション 一週目 近年のセッションシーンで演奏される曲、スタイルを学ぶ。	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
8	11月21日	講義・演習	モダンセッション 二週目 近年のセッションシーンで演奏される曲、スタイルを学ぶ。	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
9	11月28日	講義・演習	Strasburg 一週目 モダンなセッション曲のレパートリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
10	12月5日	講義・演習	Strasburg 二週目 モダンなセッション曲のレパートリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
11	12月12日	講義・演習	SQD 一週目 モダンなセッション曲のレパートリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
12	12月19日	講義・演習	SQD 二週目 モダンなセッション曲のレパートリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
13	1月9日	講義・演習	フリーセッション 一週目 何も決めずにセッションを進めるノウハウを学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通してセッションを学ぶ	楽曲の練習を最低3時間行う
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してセッションを学ぶ	楽曲の練習を最低3時間行う
準備学習 時間外学習			事前に配布される資料の予習を行う。授業で学んだことを復習し、次の授業に備える。1日1時間程度。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	著作権(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	林達也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造(1)/日本のレコード	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	4月28日	講義・演習	音楽業界の構造(2)/日本レコード協会・JASRAC	教科書予習/配布授業資料復習
3	5月12日	講義・演習	著作権の基礎(1)概要/構造	教科書予習/配布授業資料復習
4	5月19日	講義・演習	著作権の基礎(2)歴史/現在	教科書予習/配布授業資料復習
5	5月26日	講義・演習	アーティストの権利/印税とは	教科書予習/配布授業資料復習
6	6月2日	講義・演習	収入シミュレーション(CD販売)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	6月9日	講義・演習	収入シミュレーション(ダウンロード/音楽配信)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	6月16日	講義・演習	日本におけるカラオケの歴史と市場/印税配分	教科書予習/配布授業資料復習
9	6月23日	講義・演習	著作権の保護期間/フェアユース/問題点など	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	6月30日	講義・演習	ミュージックビデオ/プロモーションビデオの歴史と成り立ち	教科書予習/配布授業資料復習
11	7月7日	講義・演習	レンタルCD市場の歴史と著作権	教科書予習/配布授業資料復習
12	7月14日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(1)	教科書予習/配布授業資料復習
13	8月25日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(2)	教科書予習/配布授業資料復習
14	9月1日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察	教科書予習/配布授業資料復習
15	9月8日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】 □ よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	著作権(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	林達也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造・応用編(1)	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	10月13日	講義・演習	音楽産業の構造・応用編(2)	教科書予習/配布授業資料復習
3	10月20日	講義・演習	著作権の必須知識/使える著作権	教科書予習/配布授業資料復習
4	10月27日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(1)	教科書予習/配布授業資料復習
5	11月3日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(2)	教科書予習/配布授業資料復習
6	11月17日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは?実例/具体例/判例など(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	11月24日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは?実例/具体例/判例など(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	12月1日	講義・演習	国際的な音楽活動/世界の音楽ビジネス事情	教科書予習/配布授業資料復習
9	12月8日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	12月15日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
11	1月12日	講義・演習	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	教科書予習/配布授業資料復習
12	1月19日	講義・演習	変わりゆく著作権/時代と著作権との関係と問題点	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
13	2月2日	講義・演習	現在の音楽産業/これから10年後のビジネスモデル	教科書予習/配布授業資料復習
14	2月9日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察・応用編	教科書予習/配布授業資料復習
15	2月16日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】 □ よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	音楽史(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ジャズの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のジャズがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1) 各時代のスタイルの違いを説明できること。 2) 音楽との関係性を知ること。 3) 有名な曲の歴史的意義を知る。 4) 各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	ジャズ史概観 この授業で何を学ぶのか	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	5月9日	講義・演習	ルイ・アームストロング ジャズの誕生	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	5月16日	講義・演習	デューク・エリントンビッグ・バンドの時代	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	5月23日	講義・演習	グレン・ミラー ビッグ・バンドの広がり	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	5月30日	講義・演習	チャーリー・パーカー ビバップの始まりと進化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	6月6日	講義・演習	「クール」の誕生	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	6月13日	講義・演習	マイルズ・デイヴィスと「モード」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	6月20日	講義・演習	オーネット・コールマンとフリージャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	6月27日	講義・演習	ジョン・コルトレーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	7月4日	講義・演習	マイルズ・デイヴィス「ビッチズ・ブルー」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	7月11日	講義・演習	ハービー・ハンコックとフュージョン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	7月18日	講義・演習	コンテンポラリー・ジャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	8月22日	講義・演習	ジャズ・ヴォーカリスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	8月29日	講義・演習	日本のジャズのあゆみ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	9月5日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習 時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
適宜、講師が用意。				

科目名	音楽史(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ロックの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のロックがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1)各時代のスタイルの違いを説明できること。 2)音楽との関係性を知ること。 3)有名な曲の歴史的意義を知る。 4)各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	ロック史の概観と2000年以降のロックシーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	10月10日	講義・演習	ロックの誕生～若者向けの商業音楽の成立	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	10月17日	講義・演習	エルヴィス・プレスリーの登場による社会の変化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	10月24日	講義・演習	ザ・ビートルズが起こした革命	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	10月31日	講義・演習	ボブ・ディランとフォークソング、フォークロック	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	11月7日	講義・演習	ソウル・ミュージックを学ぶ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	11月14日	講義・演習	「サージェント・ペパーズ」が切り開いた世界を知る	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	11月21日	講義・演習	70年代へ続く道	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	11月28日	講義・演習	70年代、ロックの大衆化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	12月5日	講義・演習	パンクの登場	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	12月12日	講義・演習	MTVによる時代の変化とHIPHOPが生み出した新しいグル	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	12月19日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	1月9日	講義・演習	90年代、グランジの時代／まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	1月16日	講義・演習	総まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	1月30日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習 時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	
【使用教科書・教材・参考書】 □ 適宜、講師が用意。				

科目名	就職対策講座(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	飯泉さか江
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	就職における、面接マナー・現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にする						
到達目標	社会人としての基礎力(メールの送り方、挨拶の仕方、電話の仕方、履歴書の書き方など)を学び、働くことの意味や仕事の職種、内容について考える事で自らの将来像をイメージできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	自分の仕事のタイプについて知ることができる	プレゼン資料の準備(レポート)
2	4月24日	講義・演習	キャリアをデザインしよう/ステイブジョブスの偶然をキャリアに	プレゼン資料の準備(レポート)
3	5月8日	講義・演習	学生生活キャリアイメージを理解する	プレゼン資料の準備(レポート)
4	5月15日	講義・演習	自分らしさ/自信をみにつける事ができる	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
5	5月22日	講義・演習	コミュニケーションの難しさを理解する	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
6	5月29日	講義・演習	コミュニケーション例/説明力を学ぶ	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
7	6月5日	講義・演習	面接など基本を理解する	レポート
8	6月12日	講義・演習	身だしなみについて知る	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
9	6月19日	講義・演習	働きがいとは/次回の課題を考える事ができる	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
10	6月26日	講義・演習	インタビュー課題を理解する	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
11	7月3日	講義・演習	PDCAサークル/仕事の心身を理解する	企画制作に関わる資料の製作(レポート)
12	7月10日	講義・演習	仕事の収入の成り立ち/収入について理解する	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
13	8月21日	講義・演習	内定が出てから行うこと理解する	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名	就職対策講座(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	飯泉さか江
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	就職における、面接マナー・現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にする						
到達目標	社会人としての基礎力(メールの送り方、挨拶の仕方、電話の仕方、履歴書の書き方など)を学び、働くことの意味や仕事の職種、内容について考える事で自らの将来像をイメージできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	自己分析 自らの得意、強みを知る	プレゼン資料の準備(レポート)
2	10月9日	講義・演習	自分の発信と相手側の受け取り方について	プレゼン資料の準備(レポート)
3	10月16日	講義・演習	グループワークの進め方	プレゼン資料の準備(レポート)
4	10月23日	講義・演習	臨機応変の対応力について	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
5	10月30日	講義・演習	社会人失敗例について知る	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
6	11月6日	講義・演習	10年後の自分について目標を持つ	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
7	11月13日	講義・演習	今行うべきことの理解と、学びについて	レポート
8	11月20日	講義・演習	対人関係について・自己表現方法について	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
9	11月27日	講義・演習	社会が求めるコミュニケーション能力を知る	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
10	12月4日	講義・演習	自分のキャリアデザインを書く	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
11	12月11日	講義・演習	自分のキャリアデザインを企画書にする	企画制作に関わる資料の製作(レポート)
12	12月18日	講義・演習	自分のキャリアデザインをプレゼンテーションをする	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
13	1月15日	講義・演習	他者のキャリアデザインにアドバイスを行う	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				